

令和2年度学校評価アンケート 保護者 考察 ※児童との比較も合わせて

◇家庭数216人に対し、保護者からは203人分の提出があった。提出率は94%で昨年度の90.4%と比較すると3%程向上している。今年度は、家庭数で配付をしたが、兄弟関係の場合に回答が難しいとの問い合わせが数件あったので、次年度は検討したい。

今年度、項目11に感染症対策についての内容を追加した。

1 子どもは、学校で楽しく過ごしている。

「そう思う」「大体そう思う」を含めると、保護者93%、児童81%が良好ととらえている。保護者数と児童数が10%の差がある。感染症対策によって学校での行事や活動が制限されている事が大きな要因であると考えている。学校としては、感染症対策を図りながら、充実した学校生活を送れるよう計画、実践していく必要がある。

2 子どもは、学習の基礎・基本(読み・書き・計算など)が身につけている。

83%の保護者が良好ととらえているが、昨年度の82%と家庭と連携して学習の基礎基本の習得を目指していく。

3 子どもは、宿題や家庭学習の学習習慣が身につけている。

保護者の66%が良好ととらえているが、昨年度より16%と大幅に減少している。3年連続減少傾向であるため、前項の基礎基本定着と共に大きな本校の課題で有り、家庭との連携を深めていく必要がある。

4 子どもは、あいさつや時間を守るなどの基本的な生活習慣が身につけている。

保護者の80%が身に付いていると感じており、昨年度とほぼ同じである。しかし、学校での児童の実態を見ると、受けた挨拶を返せない児童も少なくない。まずは挨拶の意味を伝え、挨拶をする心地よさを体験させたりして、自らすすんで挨拶できる児童を増やしたい。

5 子どもは、人の気持ちを理解した言動がとれている。

保護者の84%が人の気持ちを理解した行動が取れていると感じており、昨年度とほぼ同じであるが、相手の気持ちを考えての言葉かけや、ふわふわ言葉・ちくちく言葉など、自分の発言一つの大切さを伝えていく必要がある。

6 子どもは、学校行事(運動会、歌声発表会、持久走大会、校外学習)に意欲的に参加している。

保護者の93%が良好ととらえており、アンケートの中でも意識が高い結果となった。子ども達のがんばる姿を保護者が感じ取っているのであろう。ただ、今年度は、感染症対策のため、行事の削減・縮小があったので、子ども達のポイントは減少した。

7 子どもは、非常災害時の避難行動がわかっている。

94%の児童が良好であると回答したが、保護者は89%と意識の差が見られた。児童は、地震と火事を想定した避難訓練を数多く体験し、第1次、第2次避難行動が概ねできるようになっている。今後は、告知無しでの避難訓練を定期的実施し、自分で自分の身を守る能力を身につけさせていきたい。

8 学校は、子どもの話を聴こうとしている。

保護者の83%が良好ととらえており、昨年とは大きな変化はない。学校では定期的に、「楽しい学校生活を送るためのアンケート」や「いじめアンケート」を実施したり、面談したりして、指導に当たっている。今後も管理職や関係職員の報告・連絡・相談を密にすると共に、働き方改革で生み出した時間を子どもに接する時間に当てていく。

9 学校は、子どものことについて連絡や相談をした際に丁寧に対応している。

保護者の87%が良好ととらえており、昨年より3%減少した。トラブルなど発生した際、どの児童にも平等に対応を心掛けてきた教職員には嬉しい数値である。今後も誠実で丁寧な対応をすすめ、保護者や子どもの気持ちや事実を正しく把握しているのかを慎重に判断していく。

10 学校は、子どもの安全や事故防止に力を入れている。

保護者の87%が良好ととらえている。学校では、必要に応じて登校指導、下校指導を行い事故防止に努めてきた。また、不審者情報の際は、連絡メールを流すと共に、必要に応じて教職員による学区パトロールを実施してきたので継続していく。

11 学校は感染症対策に努めている。

87%の保護者が良好ととらえている。2%の保護者が「そう思わない」と回答しているが、学校として、できる範囲での感染症対策を徹底していくことが必要である。

12 学校は、地域行事に協力的である。

今年度は感染症対策のため、多くの地域行事が中止となり地域行事に例年通りの参加ができなかった。また、校庭・体育館は、学校の学習や行事に支障のない範囲で開放している。

13 学校の様子を学校・学年だよりやホームページ、懇談会等で知ることができる。

保護者の85%が良好ととらえているが、「あまりそう思わない」「そう思わない」が8%である。今年度は、懇談会が1度しかできずに、情報を共有する場面が少なくなってしまった。今後は、HPにもっと感心を持ってもらうようにPRをしていきたい。

参考1 学校のホームページを閲覧する。

「よく閲覧している」は38%で昨年より1%向上し、「そう思わない」や「わからない」が7%減少した。HPを学校学年行事に合わせて、頻繁に更新していることが向上の一因であると考え。今後は、学校のHPに感心が向くように保護者、地域に発信をしていきたい。

参考2 子どもは、本に親しんでいる。

良好は54%で、昨年度より4%上昇した。「家庭学習や読書を進んで行っている」と回答した児童も71%で、7%上昇している。毎日の朝読書時間が定着してきたことも要因の一つである考える。

保護者自由記述 ※そのまま記載

- ・子どもがのびのびできる環境が一番だと思います。
- ・勉強や友達関係などの悩みはなるべく担任の先生と協力して一緒に解決していけたらと思います。
- ・担任が高圧的で相談しにくい。
- ・相談したときに「またですか」と言われ、面倒くさそうな返答だった。
- ・子どもが悪くない時、先に言いつけた方の言い分のみで叱られる。きちんと両者の言い分を聞いてあげて欲しい。
- ・何時も子どものことを色々と考えてくださり、ありがとうございます。お陰様で楽しく過ごしております。今後ともよろしく願います。
- ・子どもはのびのび生活できていると思います。算数が苦手なようで、自宅でのフォローも十分できないのが心配です。
- ・子どもが年賀状を先生宛に出したそうですが、先生からは返事がなかったそうです。他の子どもに聞いても1月6日までには年賀状が来なかったそうです。
- ・集団下校や下校を積極的に行う小学校もある中、西小はあまりなく、目が届きにくいとも思われる。
- ・このアンケートが学校に対してフィードバックしているように感じません。
- ・むすめのクラスはうるさい児童が多く、学習(担任以外の授業)に集中できていないと聞きます。
- ・食事の時にノーマスクで騒ぐ子もいるそうです。万全な感染対策とは思えません。

- ・下校時の周辺の巡回を強化して欲しいです。(高学年の児童に絡まれたそうです)
- ・兄弟がいるのに、アンケート用紙が1枚しかいただけなかったので、兄について回答しました。
- ・担任の先生の授業が分かりやすく、休み時間に声をかけてくれたり、一緒に外で遊んでくれたりして楽しいようです。ただ、友人関係でふり回されたり、無視されたりして嫌になることがあるようです。
- ・今年になって給食がおいしくなくなったと帰ってくるものが多くなりました。小学校の給食は子ども達にとって楽しみであって欲しいです。
- ・いじめをなくして欲しいです。
- ・コロナ対応等ありがとうございます。例年とは違う日々ですが、その中でも思い出作りを考えて頂き感謝しております。
- ・卒業式でマウスシールドを使用すると聞きました。感染対策に効果ありません。子ども達の密が高まり危険です。
- ・今年はコロナなのでよくわかりません。